スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

長野県　諏訪市

自 治 体 名 ： 長野県　諏訪市
担 当 課 名 ： 教育委員会　教育総務課
電 話 番 号 ： 0266-52-4141

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

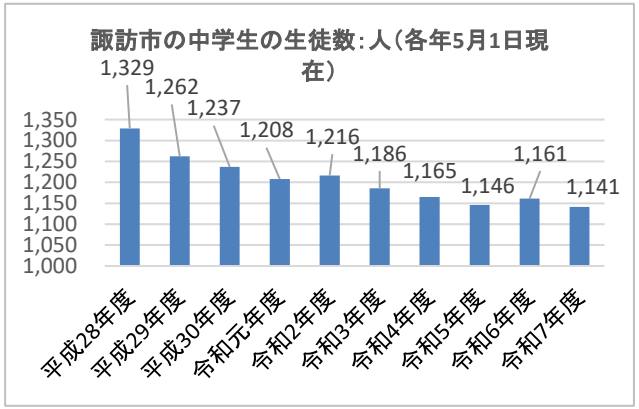
面積	109.91㎢
人口	46,770 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	1,141 人
部活動数 （運動部活動のみ）	11部活
地域クラブ活動数	1 クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

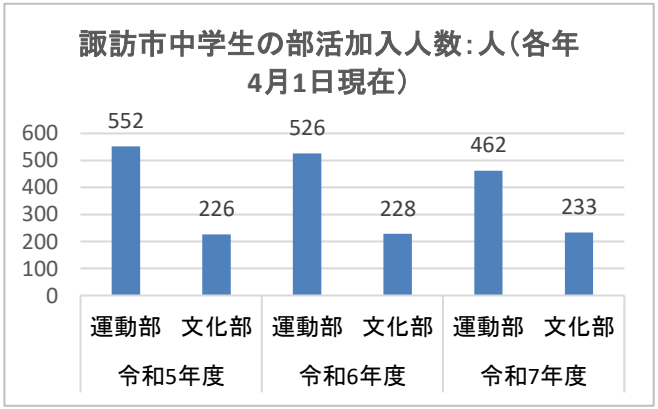
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

・少子化等による生徒数の減少や、加入率の低下などにより、これまでと同様の部活動体制を維持することが困難になっている。また、部活動は教員の勤務時間外の活動が主となることから、学校における働き方改革を求められる中で、指導体制を維持することも難しくなっている。

・令和5年度に児童生徒に実施した「市内小中学校における部活動や地域等で行われているクラブ活動等に関するアンケート」において、部活動やクラブ等に入っている目的は「興味がある活動のため」や「体力や技術を向上させたいため」、「大会等で良い成績を収めたいため」、「チームワークや協調性、共感を味わいたい」など、生徒が心身ともに健やかにまた、豊かな心に成長していくうえで部活動は重要な活動であり、この活動は生徒のためにも保証していかなければならない。

・中学生の生徒が地域でスポーツに親しめる環境構築を進める際の様々な課題に取り組むため、令和６年度より「卓球」種目について運営する団体の体制整備、指導者の確保、費用負担など部活動地域展開に向けた実証事業に取り組んでいる。現在は各種団体と令和8年度末を目途に休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行完了を目指すために懇談を行い、可能な種目から地域展開を進めていくことを目指している。





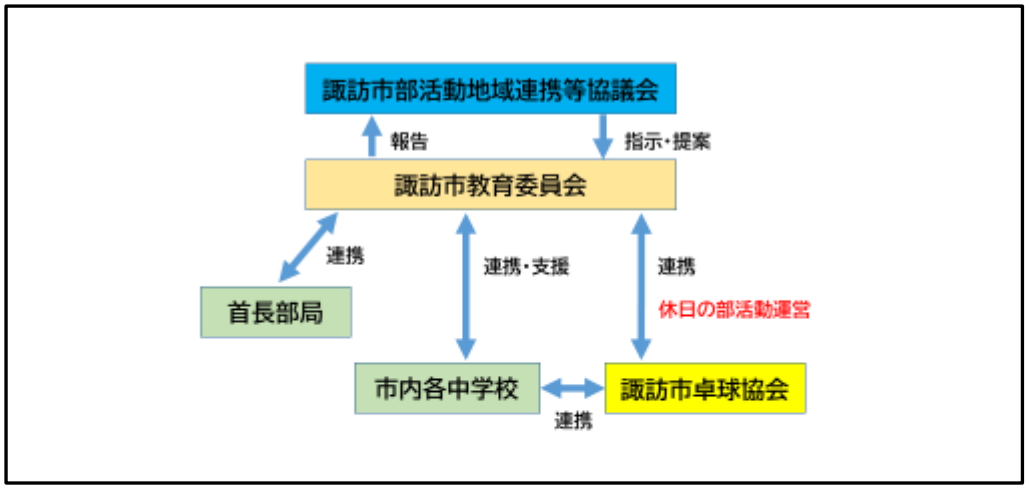
出典：諏訪市教育委員会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・諏訪市部活動地域連携等協議会の事務局の運営等。

・諏訪市卓球協会と連携し、休日の部活動の受け皿となる地域クラブ活動の運営体制を構築する。（他の団体とも地域展開に向けた協議を実施）

・生涯学習課及びスポーツ課は部活動地域展開の主管課である教育総務課と連携し、各種団体との連携調整を行う。

◉首長部局

・地域展開に向けた財政支援。

・教育委員会と連携し、休日の部活動の受け皿となる地域クラブ活動の運営体制構築を目指す。

年間の事業スケジュール

令和７年　４月　・卓球協会による休日の地域展開実証事業
※実証事業２年目として持続可能な運営に向けた取組を強化して実施

・スポーツ協会向け説明会を開催し、地域展開実現に向けた依頼

令和７年５月　・諏訪市立中学校部活動ガイドラインの改定

・各団体と地域展開に向けた懇談を開始
※陸上、バレー、バスケット、軟式野球、剣道、軟式野球クラブチームと地域展開実現に向けた懇談を実施（年度内随時実施）

令和７年　６月　・卓球協会指導者用動画基本教材作成

令和８年　１月　・令和８年度中学校部活動地域展開に向けた諏訪市の取組について保護者に向けて周知

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		1クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		1クラブ（2部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		なし
全体の指導者数	24人	全体の運営スタッフ数	3人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
諏訪市卓球協会	諏訪市スポーツ協会加盟	卓球	週１回	原則 9：00~ 11：00	1年生　26名 2年生　21名 3年生　30名	4月1日 ~ 3月31日	・上諏訪中学校 ・諏訪中学校 ・諏訪西中学校	24人	3 人	月額 1,000円	中体連：各学校部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 市内にある県立中学校生徒への参加機会の提供
- 卓球部に加入していない生徒への参加機会の提供



2.実証内容と成果

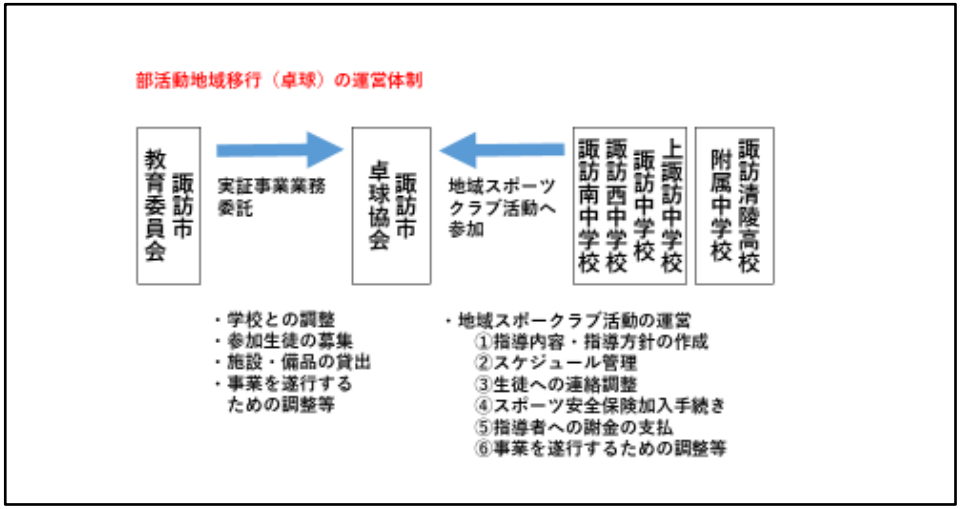
スポーツ庁

主な取組例

●部活動地域展開（卓球）　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	諏訪市卓球協会
期間と日数	4月1日～３月31日まで 毎週土曜日午前中に活動
指導者の主な属性	諏訪市卓球協会会員
活動場所	上諏訪中学校、諏訪中学校、 諏訪西中学校
主な移動手段	徒歩及び保護者による送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	年額１２，０００円 （月額１，０００円） 大会等はその都度徴収
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者　1名

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

●統括副責任者　１ 名

役割：活動における副管理者として、統括責任者を補佐する

●運営補助者（事務）　1名

役割：活動において、運営補助者として主に事務を担う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

・諏訪市スポーツ協会の加盟団体である諏訪市卓球協会と実証事業業務委託を締結して事業を実施した。（実証事業2年目）
・会場となる学校とも協議の上、施設や備品の利用についての提供を行った。
・他の団体においても地域展開に実施に向けた懇談を実施した。

・諏訪市卓球協会員に指導者の協力を依頼。
・卓球協会においては新たな指導者人材の発掘も行った。

今後の取組における課題

・諏訪市卓球協会による休日の地域展開については、次年度も引き続き継続して実施するが、持続可能な運営のため、学校、教育委員会、保護者も交えた協議を行う。

・技術的指導ができる指導者が不足している。
・資格取得者が少なく、資格取得を進める必要がある。
・平日・休日で一貫した指導を行うために学校との連携を強化する必要がある。

取組の成果

・県教育委員会が行う情報交換会や県の統括コーディネーターによる助言を受けるなど、　他自治体との情報交換及び情報共有を行った。
・学校施設の優先使用や備品の使用について学校側の理解を得られた。

・スポーツ団体ガバナンスコード、長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針、長野県地域クラブ活動推進ガイドライン、諏訪市立中学校部活動ガイドラインを遵守し、指導員の質の向上を図った。
・コーチの指導者資格を取得し、基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動や競技力向上を目指す指導にあたった。

課題への対応方針

・諏訪市教育委員会内に設置している「諏訪市部活動地域連携等協議会」において、実証事業の調整項目や進捗状況、課題などを検証しつつ、他の競技への事業展開を図っていく。
・他の競技への地域展開を進めるため、引き続き個別の団体と懇談を進めていく。

・諏訪市が締結している学校法人日本体育大学との連携協定による指導員の相互協力を活用し、連携強化を図る。
・公認指導者資格の取得促進や県が行う地域クラブ指導者養成リーダー出前講座などを活用する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

取組事項

・周辺市町村の関係団体との協力連携体制の検討をした。・スポーツ協会、文化協会、学校との懇談会を複数回もち、連携強化を行った。各教会での受け入れについて問題点や課題を共有した。

・昨年度に引き続き参加生徒を市内中学校の卓球部員に限定することなく、希望する生徒が参加できる仕組みを構築するとともに、市内県立中学校に通う参加希望生徒の募集も行った。

取組の成果

・近隣市町村の協力による指導者用動画基本教材の作成。
・部活動地域連携等協議会において情報共有及び連携体制の構築が図られた。

・市内にある県立中学校に通う参加を希望する生徒への公開活動を行い、現状の共有の場が図られた。
・生徒が卓球に親しむ機会の提供や他校の生徒との交流を図ることができた。

今後の取組における課題

・各市町村の現状や課題が共通しない事項であることも多く、今後の検討課題とした。
・周辺市町村とも連携し、多くの生徒の受入れができる体制構築が必要である。
・関係団体には地域展開への理解を深める取組の必要性を感じる。

・市内だけでなく圏域の生徒の受入れも検討する必要がある。
・市外の生徒の受入については、当市民である生徒と他の市町村の生徒とで、会費を変える必要があるのではないかなど、検討課題が多くあった。

課題への対応方針

・スポーツ協会や文化協会に所属する各団体と個別に地域展開実現に向けた懇談を実現していく。
・各教育委員会事務局レベルの事務研究会などにおいて、地域展開に係る課題解を共有し、その解決を図る。
・活動拠点までの移動が困難な生徒の移動手段については検討が必要になる。（地域の公共交通サービスやスクールバスの活用なども検討していく。）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等

取組事項

・卓球については実証事業2年目となるが、保護者説明会などにおいて丁寧な説明をし、会費徴収の合意を得たうえで、受益者負担（月額会費）の徴収した。
・地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりや環境整備を整えるため、公的資金により委託契約を締結した。

・市内３中学校（上諏訪中学校、諏訪中学校、諏訪西中学校）を活動拠点とし、地域スポーツクラブ活動として実施する。

今後の取組における課題

・受益者負担を徴集することによる保護者の理解。
・所得格差による体験機会損失を防ぐ必要がある。
・低所得者などへの会費に対する支援策を検討する。
・今後、地域展開が進み、学校施設を利用する競技が増えると使用する際の調整が必要となる。

・地域クラブに鍵の貸与をすることのリスク。（防犯や紛失等）

取組の成果

・本年度初めて受益者負担を徴集したことにより、持続可能な運営に資することができた。

・優先的に学校施設を提供することにより、活動拠点が確保できることから安定した活動体制が構築できた。
・学校と連携し、施設の鍵の貸与や、道具の保管など卓球協会の負担が軽減された。

課題への対応方針

・コストの検証により、持続的な運営ができるような適正な受益者負担額（月額会費）の設定を検討する。
・新たな財源確保として企業への協賛のお願いやふるさと納税制度の整備なども検討する。
・希望する生徒が誰もが参加できるよう、低廉な受益者負担額に努めるとともに、経済困窮世帯については援助制度等について検討する。
・保護者負担の軽減に資する支援策については、要保護及び準要保護制度との整合性を図りつつ今後検討する。
・学校施設のセキュリティ対策やスマートロックの導入の検討。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

諏訪市では、国や県の方針を踏まえ、部活動の地域展開を進めるため、受け入れ態勢の整った「卓球」について令和6年11月より地域スポーツクラブ活動体制整備事業（実証事業）の取組をスタートさせた。

本事業は、まずは休日の部活動を地域クラブ活動へ移行し、将来的には休日・平日ともに、全ての学校部活動を新たな地域クラブ活動に移行することを目指している。

今年度は実証事業２年目の取組として、持続可能な運営体制構築を目指すため受益者負担（月額会費）を設けた事や指導者が公認コーチの資格を取得し、地域クラブのコーチングスタッフとして基礎的な知識・技能に基づき安全で効果的な活動や競技力向上を目指す指導を実施した。

運営団体の指導者、顧問を交えた調整を行うなど指導方針の共有を丁寧に図りながら、生徒が安心して活動できる環境整備を構築した。

また次年度に繋がる他の競技への地域展開を進めるため、市内の団体と部活動の顧問も交えた個別の懇談も行い、競技によっては地域展開をスタートさせるための具体的な調整を複数回行ったり、実際に合同練習を開催して地域展開の課題を検証し、生徒が安心して活動できる環境の構築を進めた。

●成果の評価

運営団体の体制整備

・運営団体の組織体制の強化が図られた。

・他の競技の地域展開を進めるため次年度コーディネーターの配置を検討する。

財源の確保

・受益者負担（月額会費）を設け、持続可能な運営体制を構築する。

指導者の確保、質の向上

・地域クラブの指導者が公認コーチの資格を取得し、安全で効果的な活動、競技力向上を目指す指導を行った。

移動手段

・現状は生徒自身による移動、保護者の送迎に頼るが、公共交通サービスの活用等を検討する。

活動場所の確保

・優先的に学校施設を提供することにより、活動拠点が確保できることから安定した活動体制が構築できた。

●今後に向けて

・「卓球」に向けて受益者負担の在り方を検証し、より継続可能なクラブ活動を展開していく。

・また、他の競技の地域展開を開始するための具体的な調整を行い、数種目による新年度のスタートを予定している。（年度途中にスタート予定）

・学校との連携を強化し、将来的な平日の移行も見据え、学校や顧問、保護者、地域クラブとの調整を行いながら地域クラブ活動の構築や充実を図ってまいりたい。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



諏訪中学校　活動写真



諏訪中学校　活動写真



上諏訪中学校　活動写真



上諏訪中学校　活動写真

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料（部活動地域連携等協議会の新聞記事）

諏訪市教委 中学の休日部活地域移行検討

卓球含む10部で先行

受け入れ側次第で他種目も準備へ

諏訪市教育委員会は21日夕、市役所で開いた市部活動地域連携等協議会で、中学校の休日部活動の地域移行について、卓球での実証事業を継続するとともに、軟式野球やサッカーなど10の部活動で地域移行の検討を先行的に進める方針を示した。新年度の早いうちに団体や学校、顧問らとの懇談の場を設ける考え。他の活動種目に関しても地域クラブ側の受け入れ体制の状況などにより、「可能な種目から検討や準備を進める」とした。（鮎沢健吾）



諏訪市卓球協会と連携して今年度から始めた実証事業。これまでに市立4校と諏訪清陵高付属中から52人が参加した＝昨年11月9日、諏訪西中

対象としたのは卓球、軟式野球、サッカーの他に陸上競技、男女バレーボール、男女バスケットボール、ソフトテニス、吹奏楽。県のガイドラインに基づいて選定。懇談で課題の共有や支援策の検討を進めたいとした。この日示した市部活動地域移行推進計画の素案に盛り込んだ。

協議会で市教委は、市卓球協会と連携して昨年11月から始めた卓球での実証事業について報告した。卓球部員に関わらず希望する全ての生徒を受け入れ、これまでに市立4校と諏訪清陵高付属中から52人が参加。当初は上諏訪中と諏訪西中を会場としたが、参加生徒が多く諏訪中を加えて3会場制にしたと説明した。「地域で卓球に親しめる環境を構築できた」「教員が休日の部活動に従事する必要がなくなり、負担軽減が図られた」「いろいろな指導者に教わって技術の向上につながった」など、生徒や保護者、指導者、学校現場から寄せられた声を紹介。今後の課題には指導者や財源の確保、送迎負担の軽減、地域移行が進んだ際の活動場所の確保などを挙げ、「受益者負担や公共交通の活用といった検討も必要になってくる」とした。

市教委はこれまでの懇話会を協議会へ格上げし、保護者や団体、学校、地域の代表者15人を委員に委嘱。正副会長を選出した。県の指針に沿って26年度末までに、全ての休日の部活動を地域クラブ活動へ移行することを目指す。

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（令和７年１０月１日現在　諏訪市立中学校部活動の部員数）

令和7年10月1日現在　諏訪市立中学校部活動の部員数

	運動部名		上諏訪中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪西中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪南中学校 部員数 1年	2年	3年	計
			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
1	陸上競技	男		2		2					6	1		7	9	4		13
		女		3		3						2		2	4	3		7
2	水泳	男														3		3
		女																
3	男子バレーボール										3	3		6				
4	女子バレーボール						5			5	6	4		10	6	3		9
5	男子バスケットボール		5	6		11	4	7		11	9	7		16	1	4		5
6	女子バスケットボール		4	2		6	2	5		7	1	4		5	2	15		17
7	サッカー	男									5	3		8		14		14
		女									1	1		2				
8	軟式野球	男		2		2	2	4		6	3	2		5	2	6		8
		女																
9	ソフトテニス	男													8	9		17
		女													17	11		28
10	卓球	男	6	5		11					3	1		4				
		女	2			2					2	2		4				
11	柔道	男																
		女																
12	剣道	男									2			2				
		女									1	2		3				
13	相撲	男																
14	ソフトボール	女																
15	体操	男																
		女																
16	新体操	男																
		女																
17	ハンドボール	男																
		女																
18	バドミントン	男																
		女																
19	スケート	男																
		女																
20	スキー	男																
		女																
21	アイスホッケー	男																
		女																
22	ボート	男																
		女																
23	ホッケー	男																
		女																
24	フェンシング	男																
		女																
25	カーリング	男																
		女																
26	レスリング	男																
		女																
27	その他	男																
		女																
28	その他	男																
		女																
運動系部員数		男	11	15		26	6	11		17	31	17		48	20	40		60
		女	6	5		11	7	5		12	11	15		26	29	32		61
		計	17	20		37	13	16		29	42	32		74	49	72		121
運動部部活数			5				4				9				8			

	文化部等		上諏訪中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪西中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪南中学校 部員数 1年	2年	3年	計
			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
29	合唱	男						1		1					4	4		8
		女																
30	吹奏楽	男	1	4		5	4	2		6	1	2		3	7	3		10
		女	8	6		14	16	7		23	1	14		15	14	10		24
31	その他音楽	男																
		女																
32	美術・工芸・陶芸	男														5		5
		女	4	5		9					4	7		17	12	9		21
33	考案作製・技術・園芸	男																
		女																
34	文芸・読書	男																
		女																
35	理科・科学・環境	男																
		女																
36	コンピュータ・情報	男																
		女																
37	演劇	男																
		女																
38	ボランティア	男																
		女																
39	書写・書道	男																
		女																
40	家庭科（調理・手芸）	男																
		女																
41	囲碁・将棋	男																
		女																
42	茶道	男																
		女																
43	英語・国際	男																
		女																
44	人形劇	男																
		女																
45	その他	男																
		女																
46	その他	男																
		女																
47	その他	男																
		女																
文化部等部員数		男	1	4		5	4	3		7	5	2		7	11	12		23
		女	12	11		23	16	7		23	11	21		32	26	19		45
		計	13	15		28	20	10		30	16	23		39	37	31		68
文化部部活数			2				2				2				3			

出典：諏訪市教育委員会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和６年		令和７年		令和８年	令和９年度以降
実証事業（卓球）開始	部活動地域連携等協議会の設置	地域クラブ活動への移行に向けた調整	実証事業（卓球）の検証	休日の地域展開移行	休日・平日含め地域展開の完全移行を目指す

ステークホルダー

・学校、保護者、地域クラブ、スポーツ協会、文化協会、教育委員会

実証事業（卓球）の検証

・実証事業における課題を検証し、持続可能な運営の構築を目指す。

部活動地域連携等協議会における検証

・部活動の地域との連携及び地域への移行に向けた方向性を総合的に検討し、実現に向けた協議を行う。

・地域展開の体制整備に向けステークホルダー等多くの関係者が連携し、段階的・計画的に取り組んでいく。

地域クラブ活動への移行に向けた調整

・競技団体等との懇談や調整を踏まえ、協力や支援の要請を行い、実現可能な他競技による実証事業を実施していく。

・実施が見通せた競技は、学校や顧問と細かな調整を行い、可能な限り早期の地域展開をスタートさせる。

・保護者や生徒への十分な説明を踏まえ、地域展開をスタートさせていく。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和6年度
◇「卓球」競技による実証事業の実施
・実証事業の検証を行い、効果的な地域展開の検討
◇諏訪市部活動地域連携等推進協議会の設置
・部活動の地域との連携及び地域への移行に向けた方向性の検討

令和7年度
◇「卓球」競技による実証事業の継続実施
◇他種目の実証事業の調整
◇地域クラブ活動移行に向けた検討・準備
・各団体へのアプローチ、懇談、課題・支援策等の検討
陸上競技、男女バスケットボール、男女バレーボール、軟式野球、サッカー、ソフトテニス、卓球、吹奏楽
※上記以外の活動種目についても、可能なところから順次、検討・準備

令和8年度
◇長野県の指針改定、平日の移行方針を参考に当市の平日移行を検討
◇地域クラブ移行に向けた準備
・各団体へのアプローチ、懇談、課題・支援策等の検討
・各団体、学校、行政による調整
・地域クラブ移行に向けた進行状況を保護者等へ発信
◇諏訪市部活動地域連携等協議会における進行管理

令和8年度
◇段階的に平日部活動の地域クラブ活動への移行を目指す